

## しあわせのたね

竹灯籠の魅力を発信  
地域のにぎわい創出

山林の荒廃で邪魔者扱いされることが多くなった竹で灯籠を作り、地域の活性化にもつなげる活動をしている。出張教室やイベントなどでの空間演出、レンタルなど活動の幅は広く、新たに観光客向けの創作体験も始めた。

代表の森下智道さんは約10年前、熊本城（熊本市）周辺を竹灯籠で彩るイベントを知ったの  
をきっかけに興味を持ち、創作活動を開始。竹とうろう職人ともさんとして県内外で活動している。竹灯籠はドリルで思い思いに穴を開け、中からろうそくや電球を灯すと幻想的な雰囲気創り出せる。子どもから大人まで手軽に体験ができ、出張教室の要望も増えている。創作体験は、旅の思い出として形に残るもの



を作りたいという声や、滞在時間が長くなることで地域のにぎわいにもつなげたい思いで始め、竹灯籠のほかに今年から竹箆作りも実施。体験場所も道の駅燕趙園隣の工房（湯梨浜町）の

ほかに、週末は倉吉の赤瓦にも出店し、観光客などを受け入れている。個人・団体客などの参加があり大人気。英語対応もあり、外国人観光客からも好評を得ている。



竹灯籠の創作体験

代表  
森下 智道さん

竹灯籠は、見て癒やされ、自分で作ることで楽しさがプラスされます。今後も竹の良さを大勢の人に知ってもらえる活動をしていきたいです。

